



# ラサ工業株式会社

## 2016年3月期 第2四半期決算説明資料

2015年11月30日

証券コード:4022



---

## 目次

1. 2016年3月期上期実績及び通期見通し
2. 中期経営計画の進捗状況



---

# 1. 2016年3月期上期実績及び通期見通し

# 2016/3期 上期決算概要

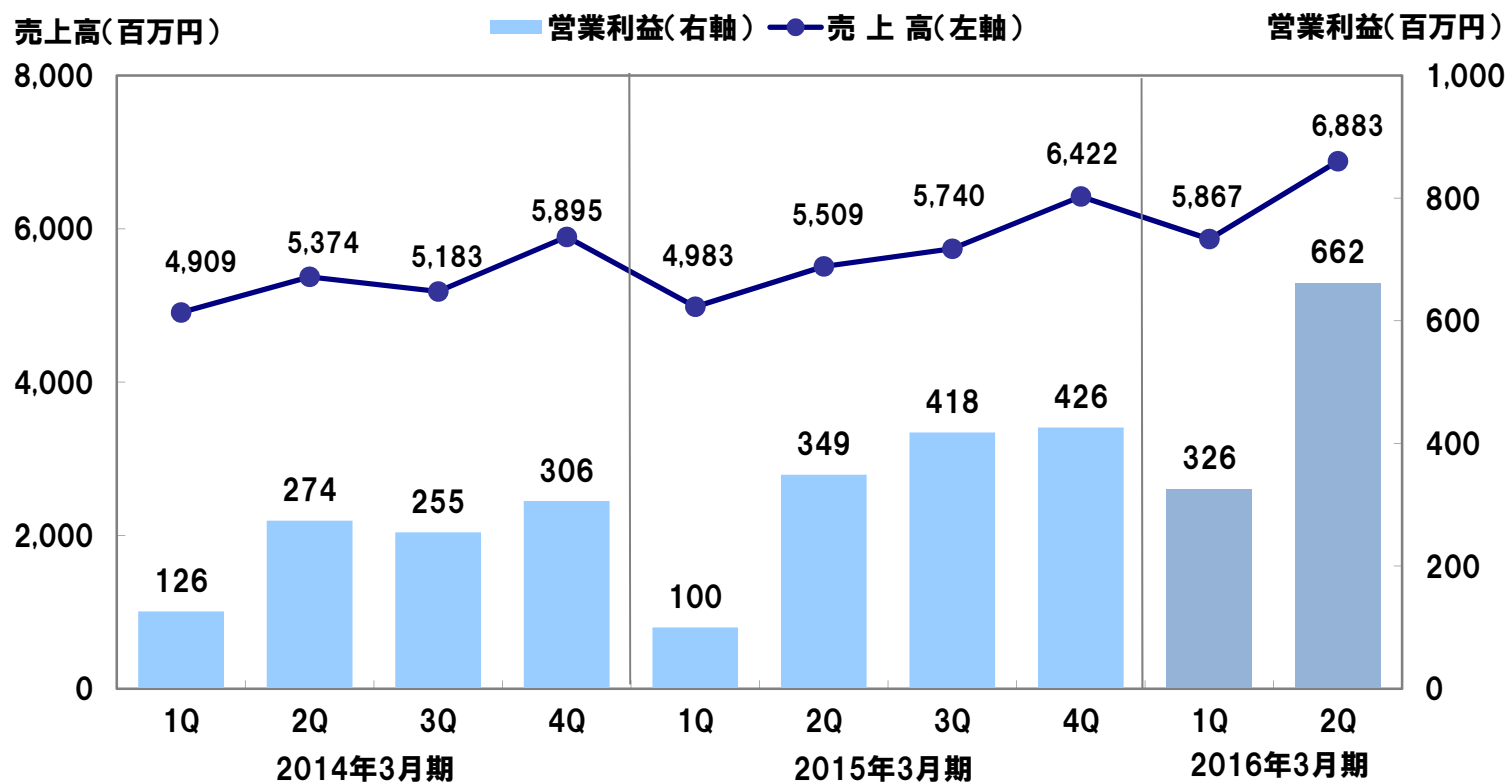
- 売上高は、21.5%増収。化成品事業、機械事業、電子材料事業とも増収。
- 営業利益は、機械事業の採算改善と放射性ヨウ素吸着剤の寄与などで2.2倍。

(単位:百万円)

	2015/3 上期	2016/3 上期		期初計画	対計画比 増減
		実績	前年同期比		
売上高	10,492	12,750	+21.5%	12,600	+150
営業利益	449	988	+119.7%	900	+88
経常利益	312	788	+152.2%	700	+88
当期純利益	280	604	+115.3%	550	+54

# 四半期業績の推移

## 四半期売上高と営業利益の推移（百万円）



# 2016/3期 上期セグメント別概要

(単位:百万円)

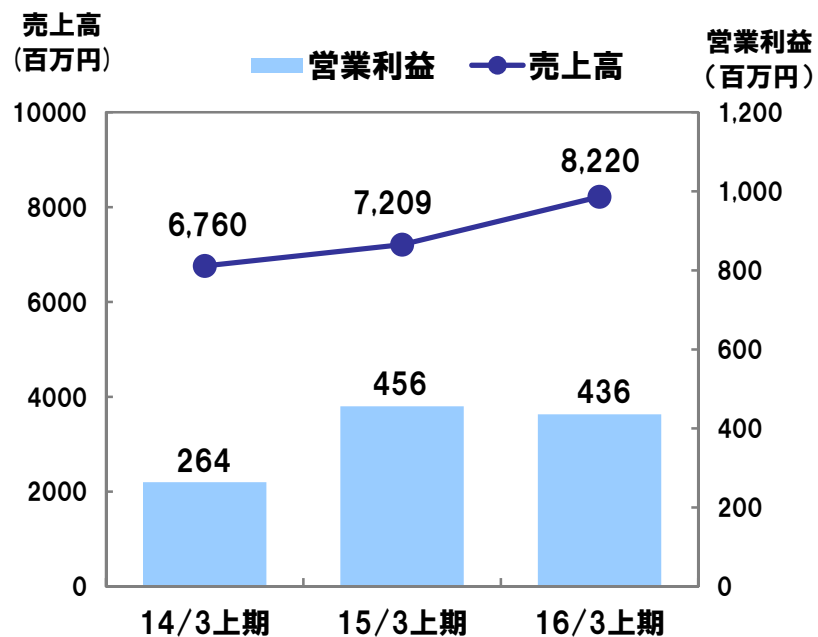
		2015/3 上期	2016/3 上期	増減
化成品事業	売上高	7,209	8,220	+1,011
	営業利益	456 (6.3%)	436 (5.3%)	▲20
機械事業	売上高	1,831	2,208	+377
	営業利益	55 (3.0%)	148 (6.7%)	+93
電子材料事業	売上高	827	1,663	+836
	営業利益	40 (4.8%)	375 (22.5%)	+335
その他	売上高	624	657	+33
	営業利益	372 (59.6%)	384 (58.4%)	+12

注1) カッコ内の数値は各セグメント別の売上高営業利益率

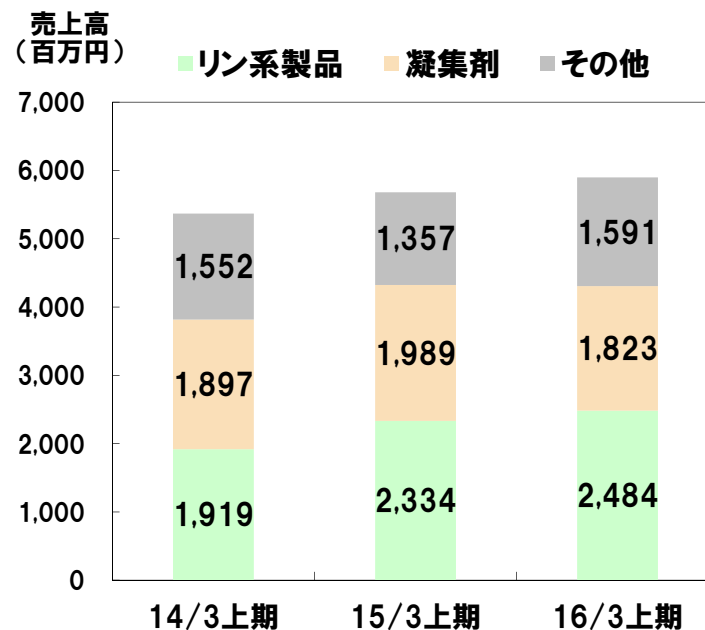
# 化成品事業

- リン系製品は、電子工業向け高純度品が内・外とも好調。
- 凝集剤は、販売数量の伸び悩みで減収。
- 営業利益は、円安に伴う原材料価格上昇が響き、微減益。

【化成品事業】 売上高と営業利益の推移（連結）

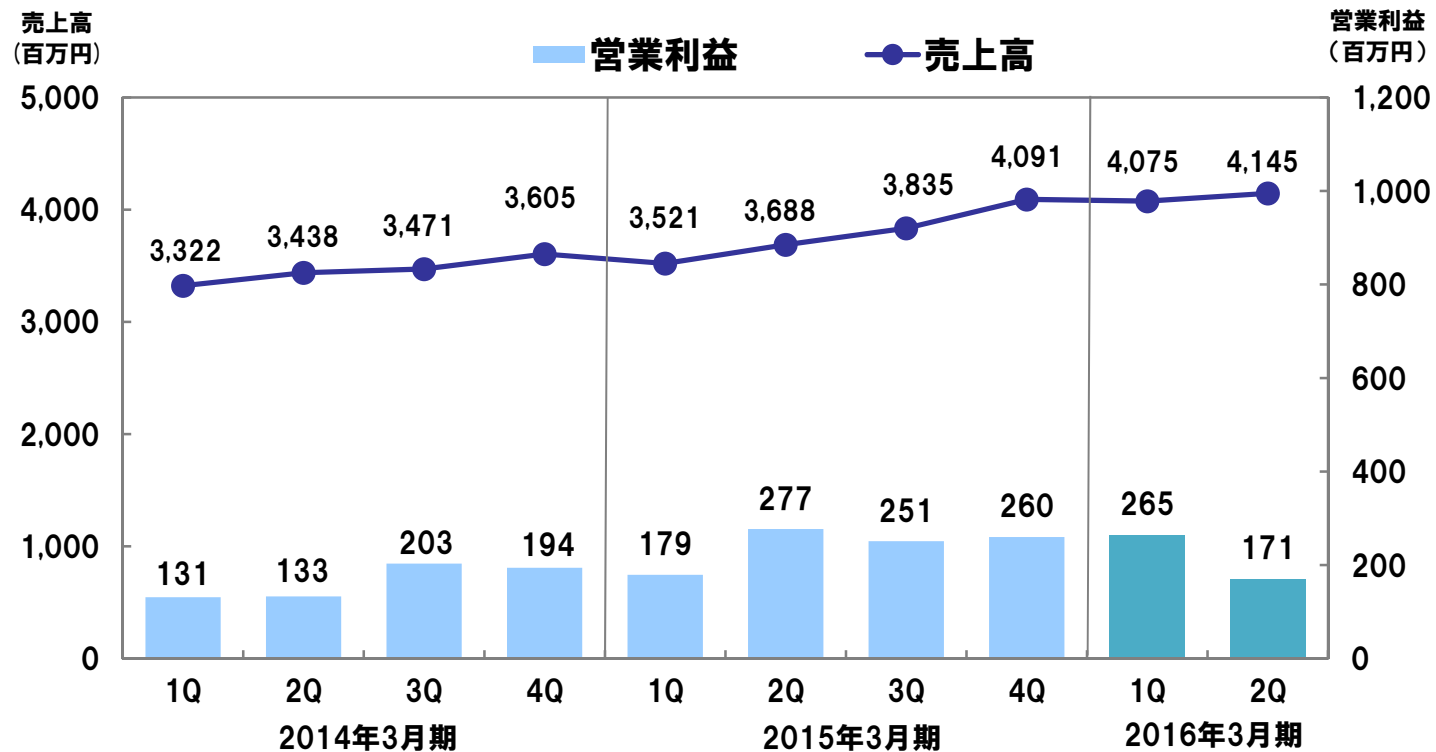


【化成品事業】 製品別売上高の推移（単独）



# 化成品事業(四半期業績)

【化成品事業】売上高と営業利益の四半期推移（連結）

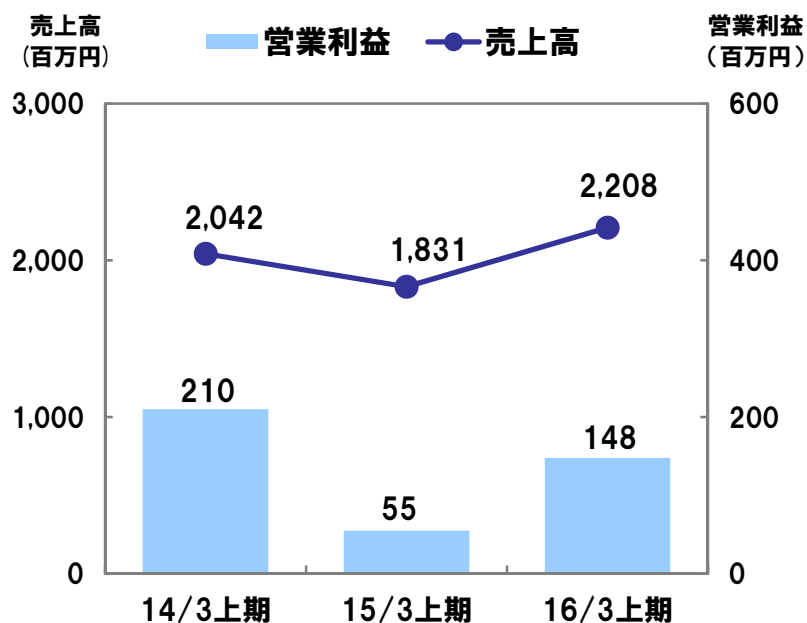




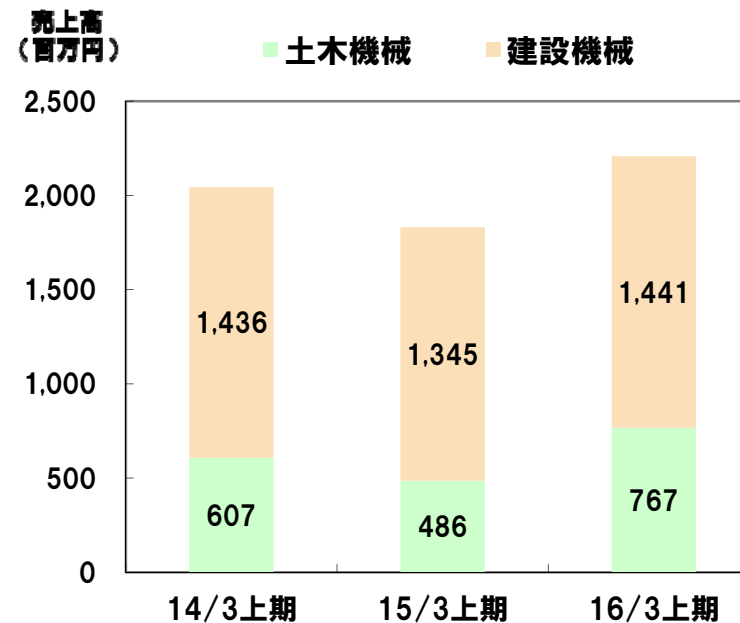
# 機械事業

- 土木機械は、掘進機のアジア向け輸出が好調。
- 建設機械は、碎石関連(機械・部品)販売が牽引。

【機械事業】 売上高と営業利益の推移 (連結)

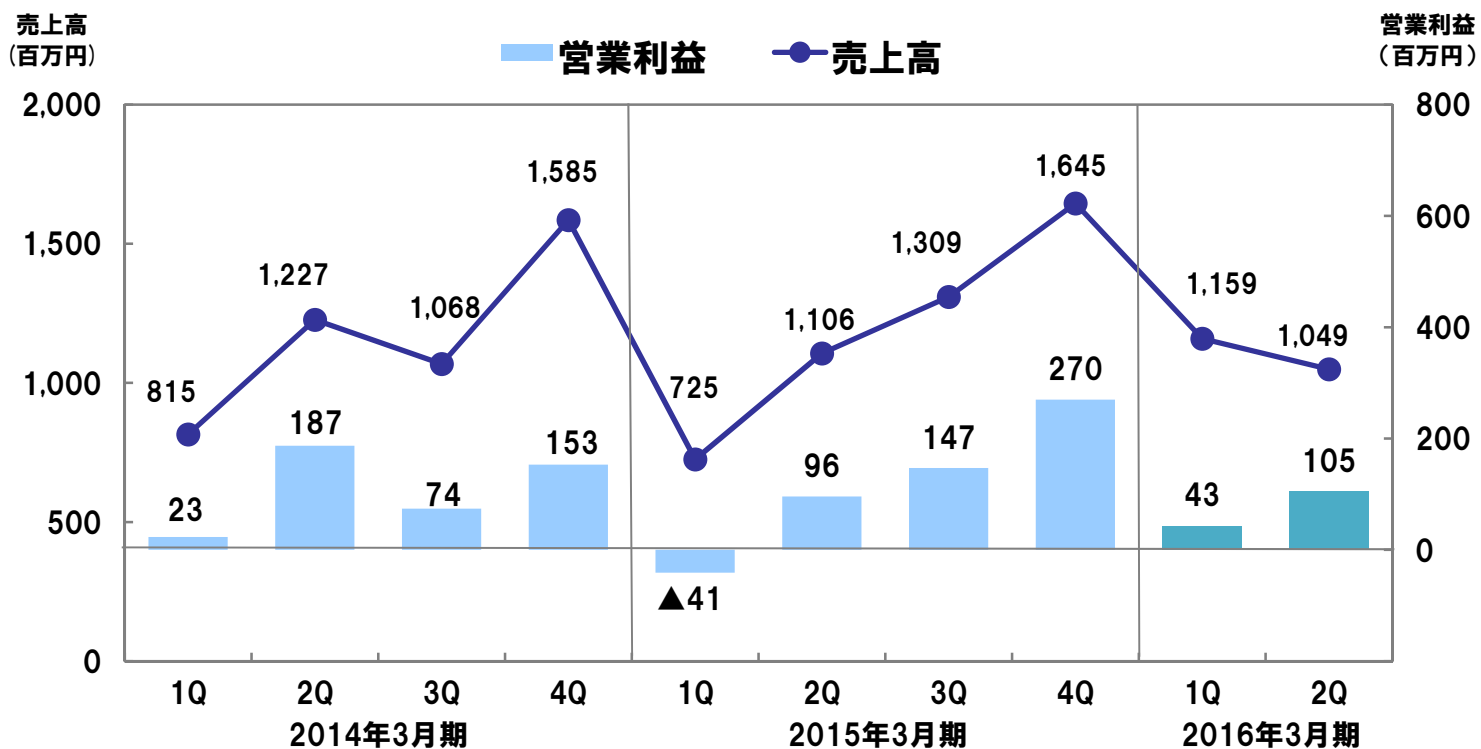


【機械事業】 製品別売上高の推移 (単独)



# 機械事業(四半期業績)

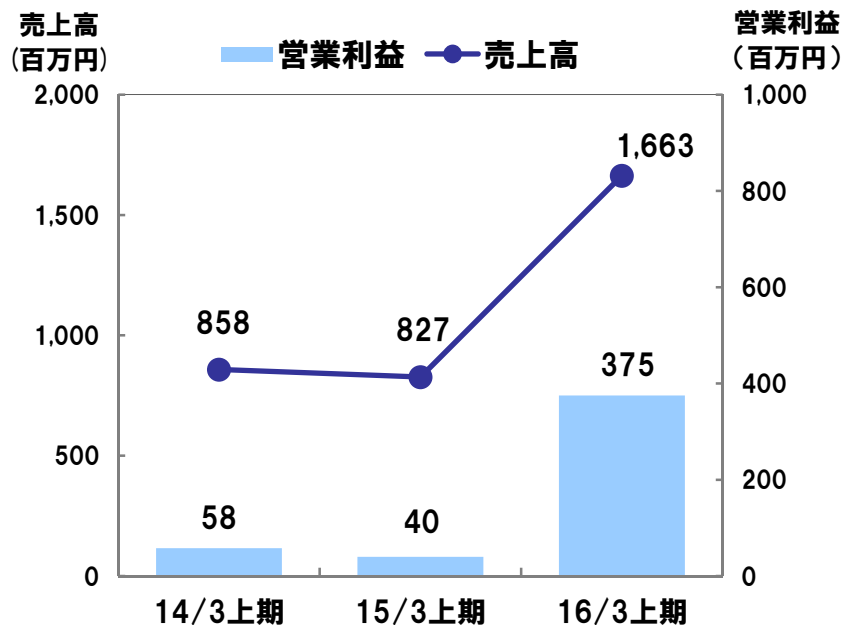
【機械事業】売上高と営業利益の四半期推移（連結）



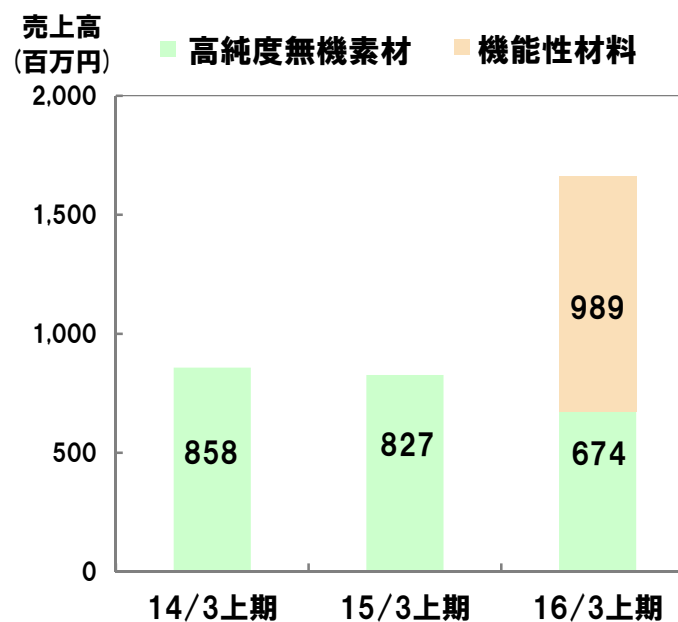
# 電子材料事業

- 高純度無機素材は、ユーザーの生産調整に加え、ガリウムで顧客の事業撤退もあり減収。
- 機能性材料は、原子力発電所向け放射性ヨウ素吸着剤の販売が寄与。

【電子材料事業】売上高と営業利益の推移（連結）

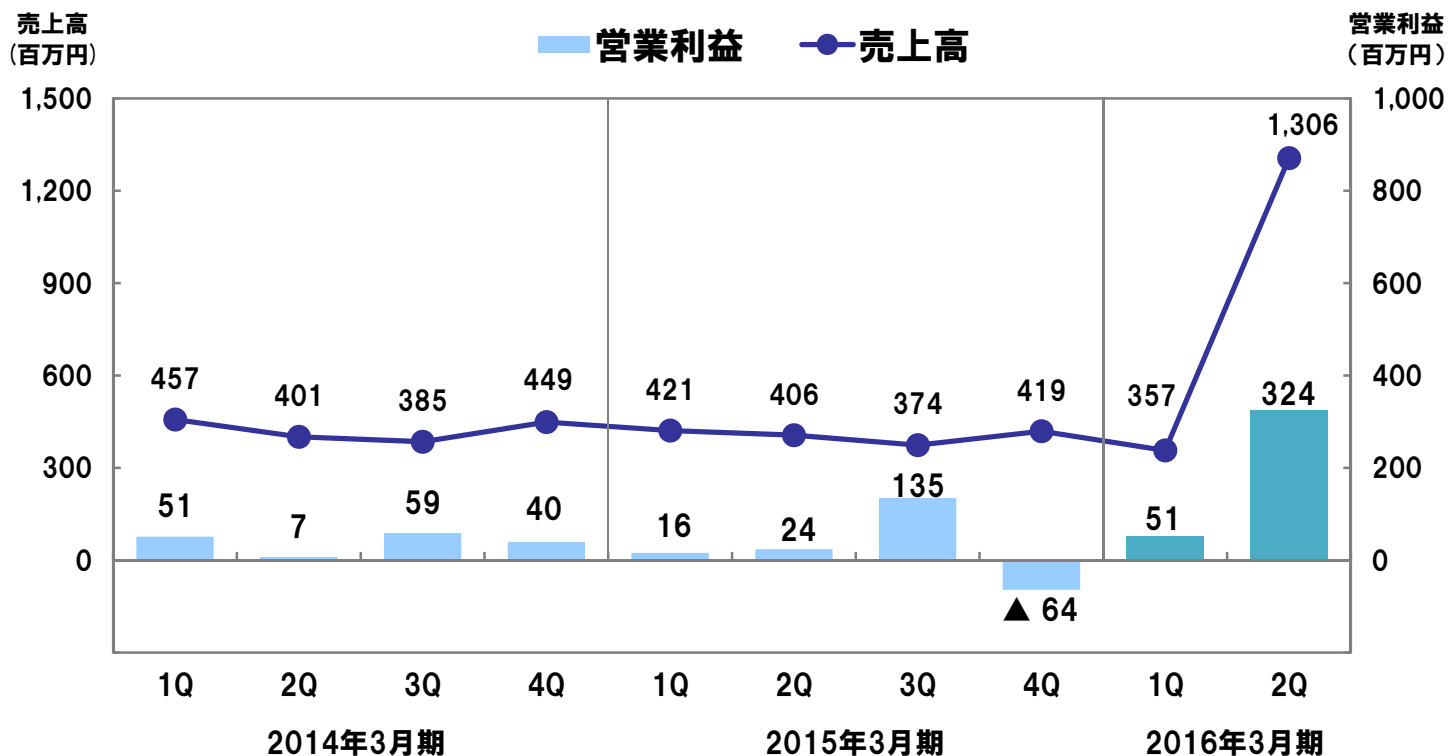


【電子材料事業】製品別売上高の推移（単独）



# 電子材料事業(四半期業績)

【電子材料事業】売上高と営業利益の四半期推移（連結）



# 損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	2015/3 上期	2016/3 上期	増減	伸び率
売上高	10,492	12,750	+2,258	+21.5%
売上原価	8,038	9,813	+1,775	+22.1%
販売費・一般管理費	2,004	1,948	▲56	▲2.8%
営業利益	449	988	+539	+119.7%
営業外収益	151	95	▲56	▲37.1%
営業外費用	288	294	+6	+2.1%
経常利益	312	788	+476	+152.2%
特別利益	14	7	▲7	-
特別損失	2	38	+36	-
税金等調整前当期純利益	324	758	+434	+134.0%
当期純利益	280	604	+324	+115.3%

# 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	2015/3月末	2015/9月末	増減
<b>流動資産 計</b>	<b>16,184</b>	<b>15,899</b>	<b>▲285</b>
現金及び預金	4,916	4,648	▲268
受取手形及び売掛金	6,970	7,725	+755
たな卸資産 ※	3,799	3,037	▲762
<b>固定資産 計</b>	<b>15,150</b>	<b>15,300</b>	<b>+150</b>
有形固定資産	12,192	12,458	+266
無形固定資産	964	962	▲2
投資その他の資産	1,993	1,878	▲115
<b>流動負債 計</b>	<b>15,368</b>	<b>15,855</b>	<b>+487</b>
支払手形及び買掛金	3,904	3,402	▲502
短期借入金	9,612	9,824	+212
<b>固定負債 計</b>	<b>7,150</b>	<b>5,994</b>	<b>▲1,156</b>
長期借入金	4,437	3,304	▲1,133
退職給付に係る負債	2,199	2,223	+24
<b>純資産</b>	<b>8,815</b>	<b>9,350</b>	<b>+535</b>
自己資本	8,764	9,333	+569
少数株主持分	50	16	▲34
<b>総資産</b>	<b>31,334</b>	<b>31,199</b>	<b>▲135</b>

※ たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

# キャッシュフロー表(連結)

(単位:百万円)

	2015/3 上期	2016/3 上期
営業キャッシュ・フロー	1,147	1,028
税金等調整前四半期純利益	324	758
減価償却費	499	450
売上債権の増減額(▲は増加)	630	▲719
たな卸資産の増減額(▲は増加)	▲294	776
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲285	▲508
法人税等の支払額	▲48	▲18
投資キャッシュ・フロー	▲396	▲226
有形固定資産の取得による支出	▲247	▲221
財務キャッシュ・フロー	▲1,731	▲1,090
有利子負債の純増減額	▲1,723	▲950
現金及び現金同等物 期中増減額	▲1,000	▲267
現金及び現金同等物 期末残高	3,473	4,648

## 2016/3期の業績予想

- 半導体向け高純度リン酸出荷や海外向け掘進機輸出の好調に加え、放射性ヨウ素吸着剤(AgX)の販売寄与で10%増収を計画。
- 原料高で化成品の採算は悪化するも、AgXの寄与で営業増益の予想。

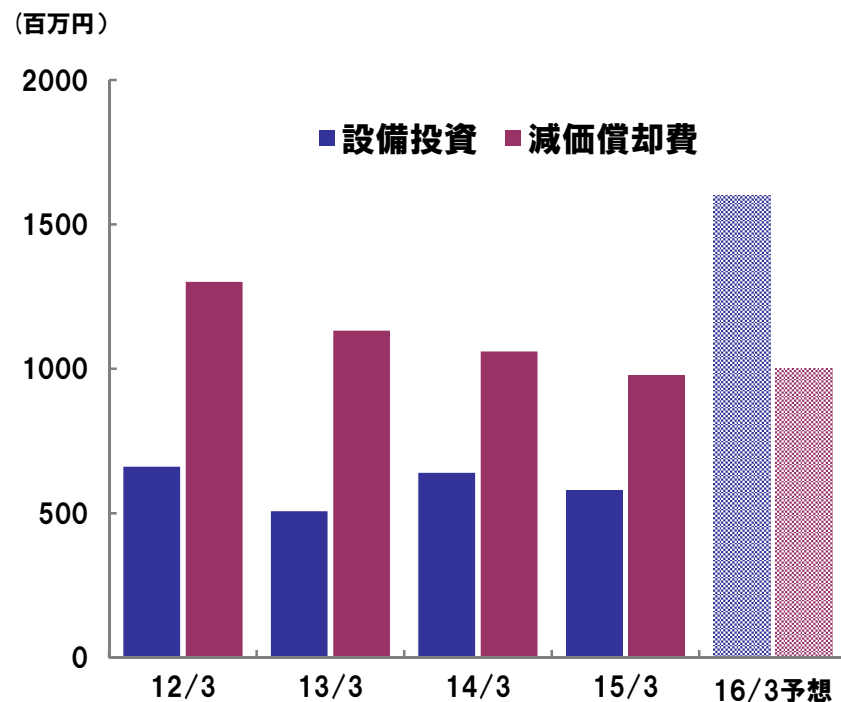
(単位:百万円)

	2015/3期	2016/3期予想	増減	前年比
<b>売上高</b>	22,654	25,000	+2,346	+10%
化成品事業	15,135	16,000	+865	+6%
機械事業	4,785	5,100	+315	+7%
電子材料事業	1,620	2,800	+1,180	+73%
その他	1,113	1,100	▲ 13	▲1%
<b>営業利益</b>	1,293	1,500	+207	+16%
化成品事業	967	800	▲167	▲17%
機械事業	472	400	▲72	▲15%
電子材料事業	111	550	+439	+395%
その他	680	650	▲ 30	▲4%
全社費用など	▲ 938	▲ 900	+ 38	+4%
<b>経常利益</b>	1,018	1,100	+82	+8%
<b>当期純利益</b>	660	900	+240	+36%

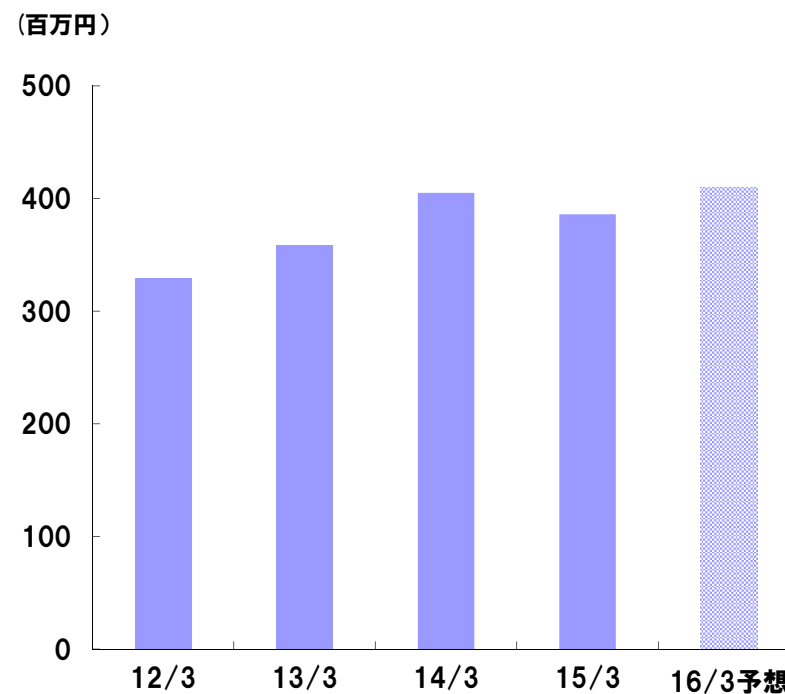


# 設備投資及び減価償却費推移

## 設備投資・減価償却費（連結）



## 研究開発費（連結）





---

## **2. 中期経営計画の進捗状況と下期の取り組み**

# 新中期経営計画(2015~2017年度)の概要

## 第八次中期経営計画

~「安定した収益力」と「財務健全化の達成」の両立を目指す~

### 安定的な配当体制の構築

#### 数値目標

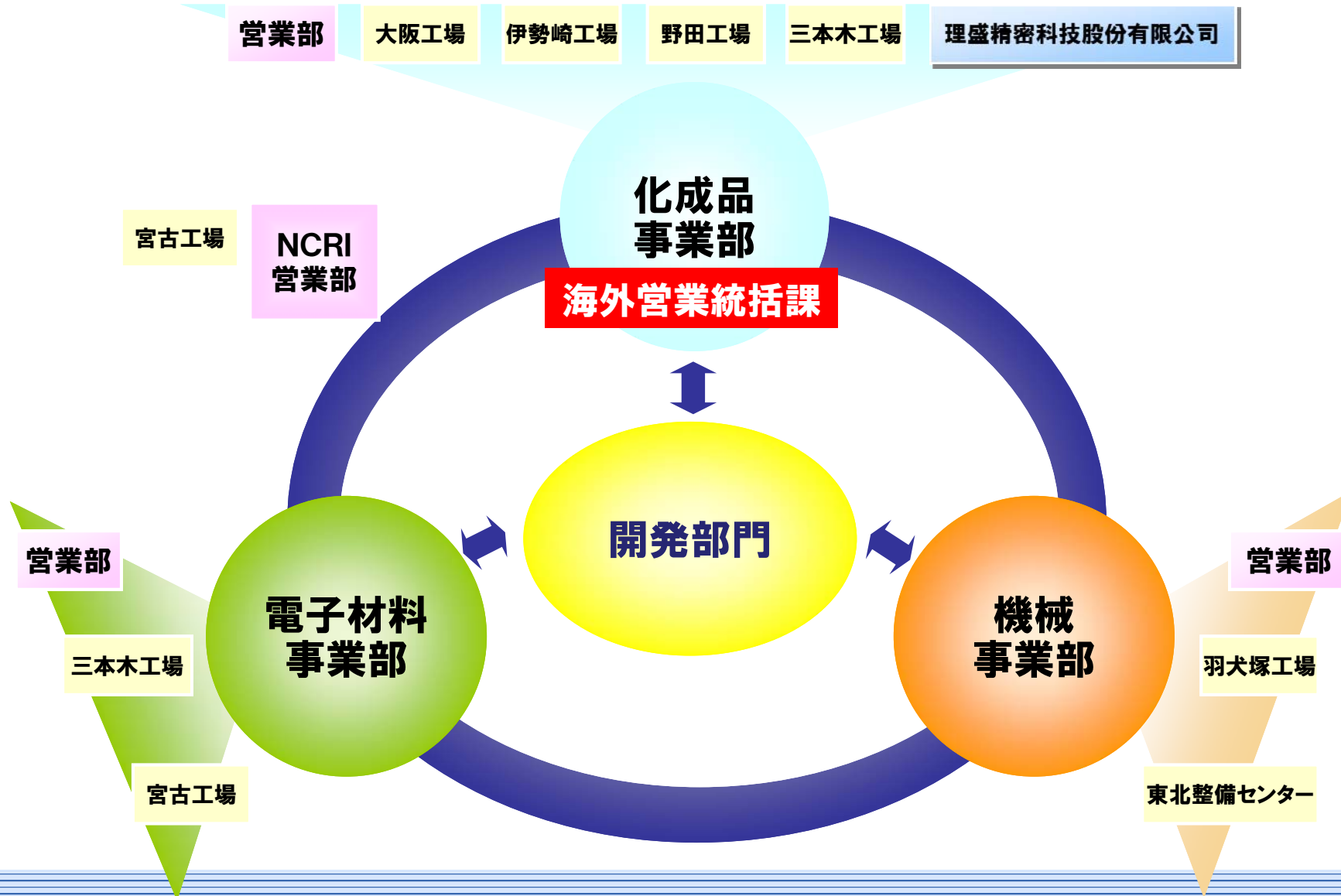
- 連結営業利益 最終年度15億円
- ネットD/Eレシオ 0.7倍以下

#### 事業戦略

- ◆ 既存事業の強化・領域拡大
- ◆ グローバル化への対応強化
- ◆ 新規事業への注力

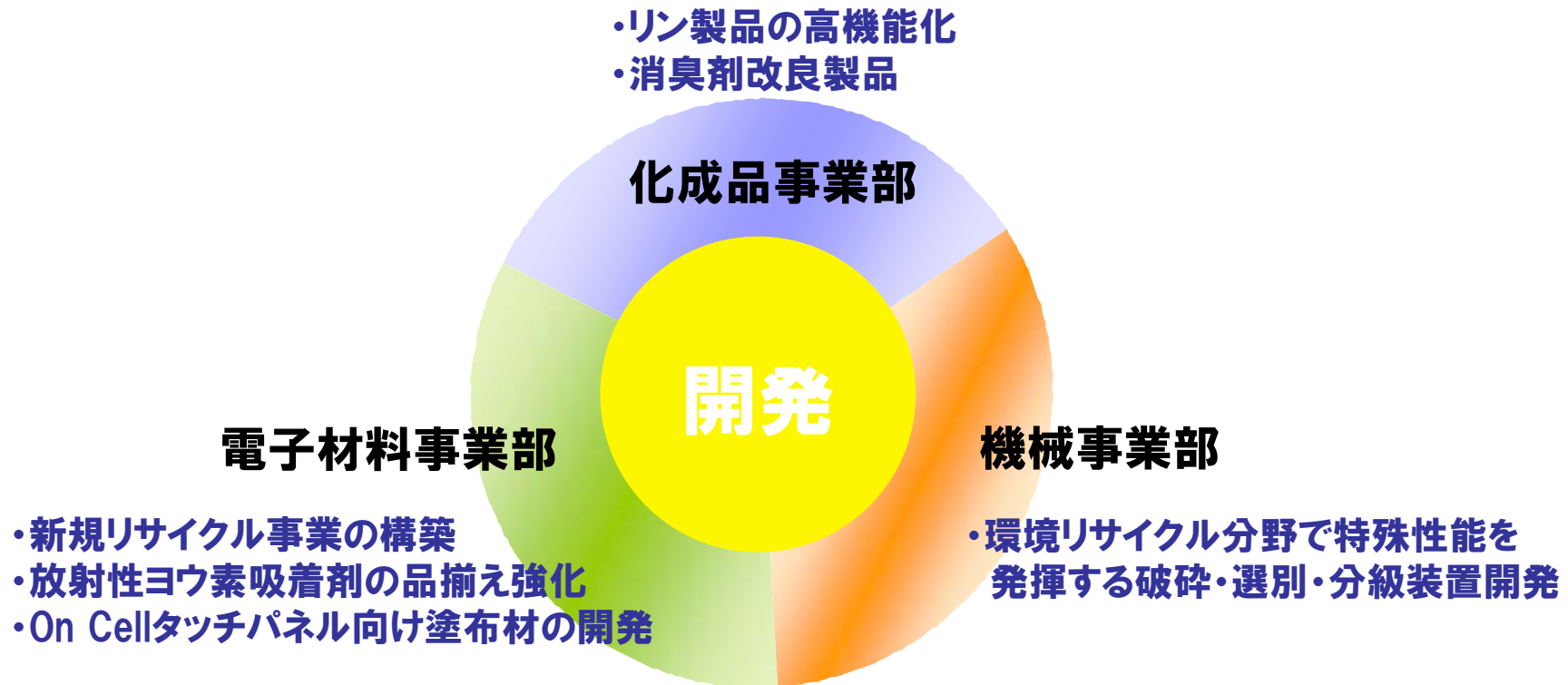
効率的な組織運営+経営管理の見える化推進+コンプライアンスの徹底

# 安定収益の確保に向けた効率的な組織運営



# 営業との連携を強化する開発体制

ターゲット領域 「電子産業分野」、「ファインケミカル分野」、「リサイクル分野」

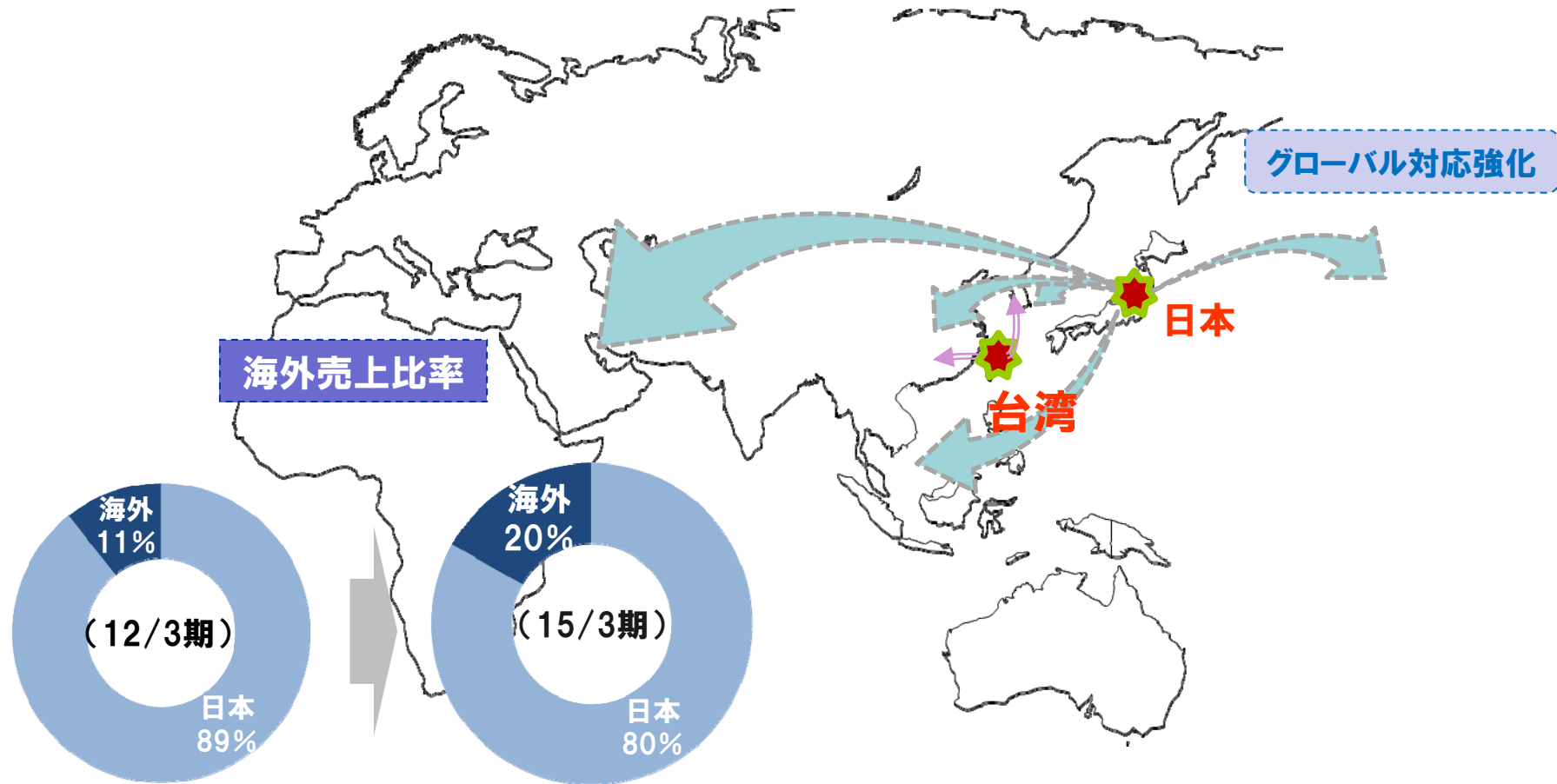


# 海外市場取り込みの現状

## 現状

海外生産：台湾内需向け中心の高純度リン酸

輸出対応：下水道向け掘進機、高純度無機素材など



# 第八次中期計画の事業戦略

全社方針	施策
既存事業の強化・ 領域拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 既存商品拡販による収益基盤の安定化</li><li>・ 営業力強化とコスト削減</li><li>・ 事業採算性の管理強化</li></ul>
グローバル化への 対応強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 販売・仕入ともに海外マーケットへの取組み強化</li><li>・ 原料の安定確保の強化</li></ul>
新規事業への注力	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ユーザー拡大と高付加価値化</li><li>・ 製品開発と営業の連携強化</li></ul>

# セグメント別基本戦略

	既存事業の強化・領域拡大	グローバル化への対応強化	新規事業への注力
化成品	リ サ ・高純度リン酸の拡販 ・消臭剤の新規顧客開拓を含めた拡販	・リン系製品・消臭剤の海外市場開拓 ・海外営業統括課の最大活用	・リン酸二次塩類の新規分野開拓 ・消臭剤の新規分野開拓と改良製品上市
機械	イ ク ル ・震災復興、オリンピック、リニア関連需要の取込み ・国内掘進機の泥濃工法への深耕 ・粉体向け機械販売の強化・拡大	・東南アジア向け掘進機販売強化	・グラインドウォッシャーの拡販 ・木粉事業向け装置の開発・販売
電子材料	事 業 ・ガリウム・インジウムの生産体制・工程見直しによるコスト削減	・AgXの海外営業強化	・顧客ニーズに応じたAgX新製品開発

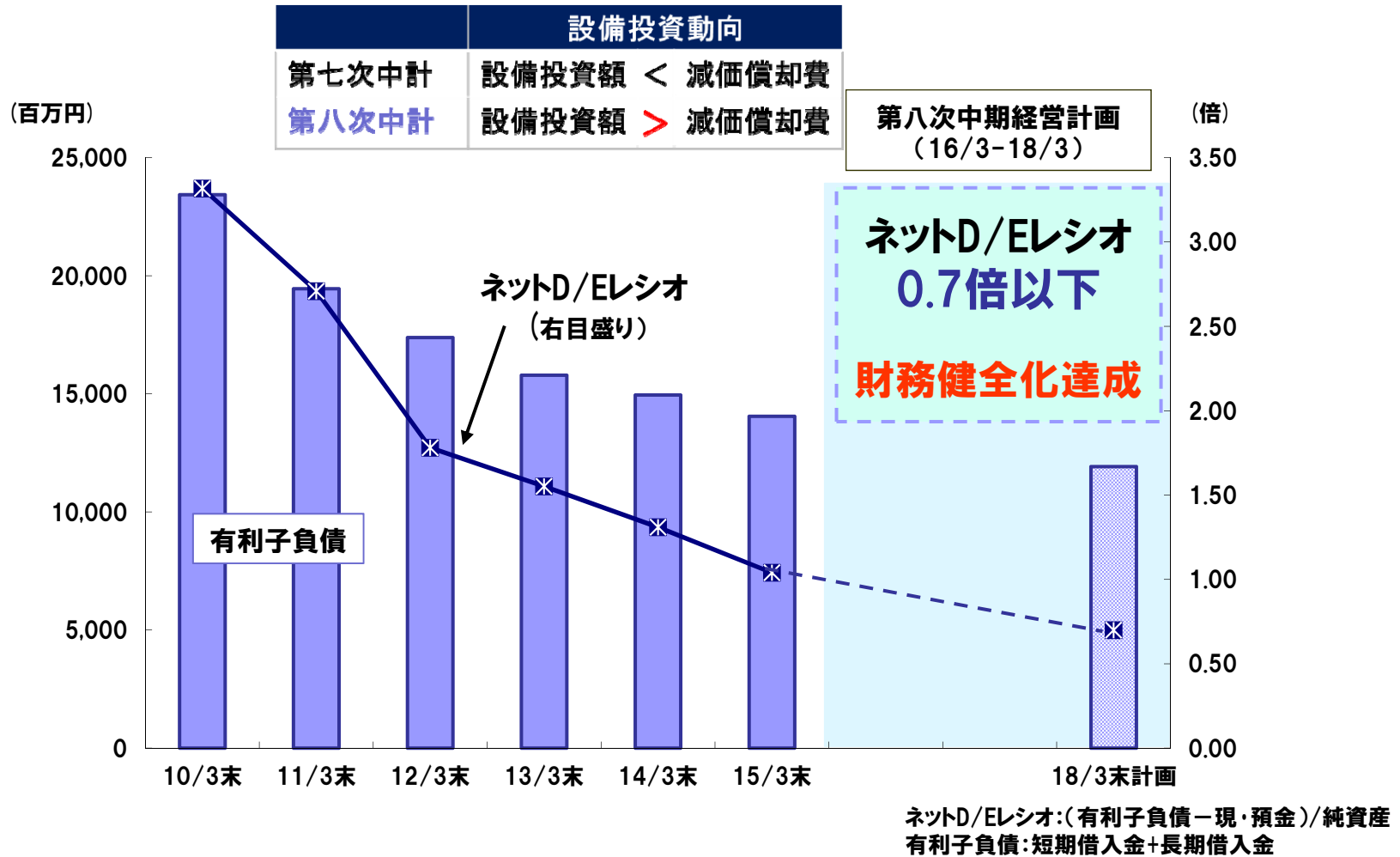
## 【セグメント別営業利益目標】

	2015/3期実績	2018/3期計画
化成品事業	9.6億円	11.0億円
機械事業	4.7億円	5.0億円
電子材料	1.1億円	1.5億円
その他	6.8億円	6.5億円
全社	12.9億円	15.0億円



# 財務健全化の数値目標

成長投資を選別し財務健全化達成を目指す



# 化成品事業の重点施策と進捗状況

## 化成品事業

### ・海外営業統括課の最大活用

リン酸二次塩類の海外新規顧客開拓

⇒電子・光学向けでユーザー評価中

消臭剤の海外市場開拓

⇒繊維メーカーで改良品のサンプル評価中

### ・台湾子会社の海外拠点化推進

高純度リン酸の拡販と海外市場開拓

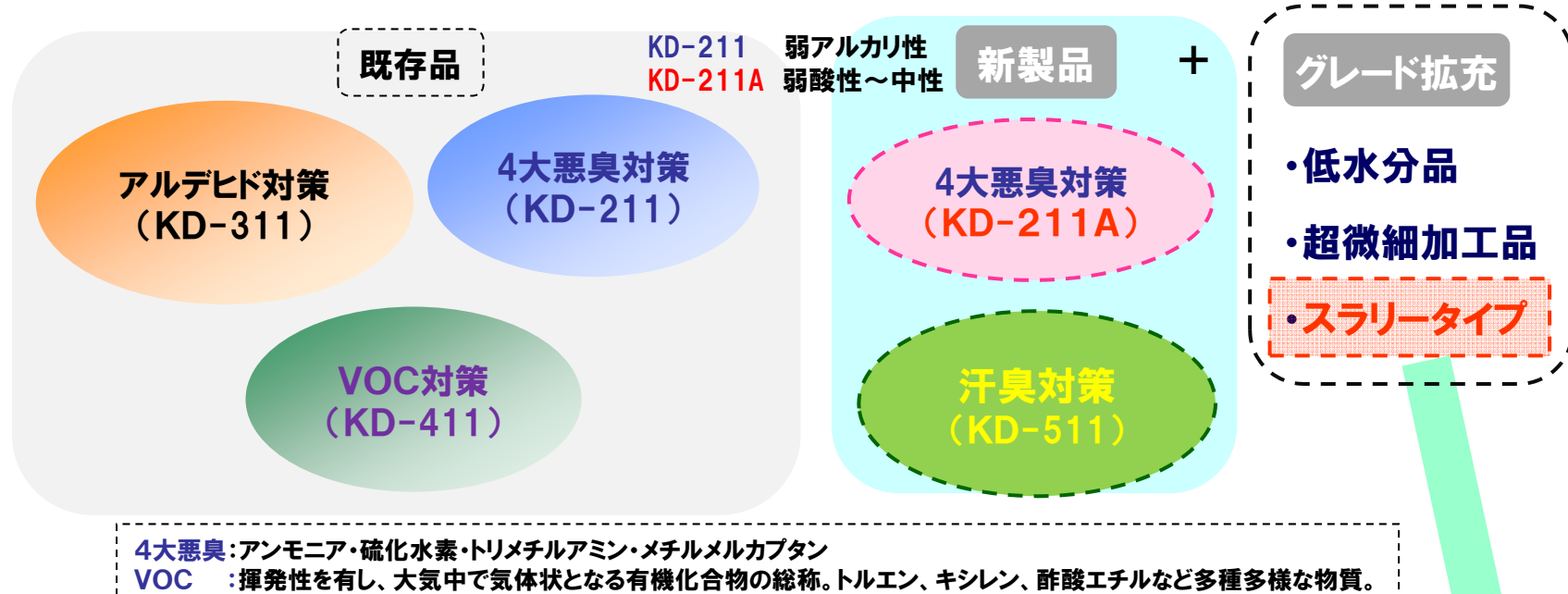
⇒高純度リン酸販売量は前年同期比66%増加

### ・新規製品探索

⇒継続中

# 当社の消臭剤事業

## 品揃え強化で新規需要開拓



### 特長

- ・加工性、耐熱性
- ・酸、塩基の両方の消臭可能
- ・再放出がほとんどない
- ・水洗可能、何度でも使用可

### 用途

- ・繊維関係(アパレル、新素材)・・・ **海外向け開拓**
- ・フィルター関係(エアコンや空気清浄機)
- ・樹脂成形品(ゴミ箱)
- ・食品用容器
- ・自動車シート

# 機械事業の重点施策と進捗状況

## 機械事業

### ・新規需要の取り込み

震災・復興関連需要（グラインドウオッシャー拡販も）

⇒中間貯蔵施設竣工の遅れ。別用途（土壌改良・産廃）で初受注。

オリンピック・リニア関連需要⇒進展なし

### ・海外向け掘進機販売強化（ASEAN、インドなどの新エリアも）

⇒インド初納入とフィリピン向け初受注。

### ・粉体向け機械販売の強化

顧客ニーズにマッチした製品開発加速も

⇒バイオマス、木粉、ボイラー燃料製造設備（間伐材利用）。

# 当社の粉体関連機器群

## スーパーエディーミル

木質系バイオマス製造に強み



### 特長及び用途例

- ・粉砕室内に強力な回転流を発生させ、この作用とシステムの空気流路設計により処理物を適切に粉砕。
- ・粉砕可能物は、木材、樹皮、竹、わら、ミネラル、プラスチック・化学物質・金属・食品等。

## アルガイヤシフタ

低騒音、低振動で高精度分級



### 特長及び用途例

- ・低騒音、低振動で高精度分級可能な揺動式円形ふるい機
- ・目詰まりし難く、機械本体の寿命が長い。
- ・樹脂: 高吸水性樹脂、スチレンビーズ、ポパール粉、イオン交換樹脂など。
- ・食品: アミノ酸、タンパク質、甘味料、育児用粉ミルク、粉乳など。
- ・医薬品: 生薬、アミノ酸、歯科材料、増粘剤など。
- ・電子材料: シリカ粉、ハンダビーズ、金属粉など。
- ・その他: 各種金属粉、研磨剤、セラミックス、触媒ガラスビーズ、化粧品など

# 電子材料事業の重点施策と進捗状況

## 電子材料事業

- **高純度無機素材の収益改善策**

生産工程の見直し

⇒**継続中。今期中に具体策をまとめる**

- **AgXの営業強化**

海外市場取り込み

⇒**継続中。引き合いあり。**

顧客ニーズに応じた製品開発

⇒**フィルターシステムの共同開発**

# 放射性ヨウ素吸着剤(AgX)

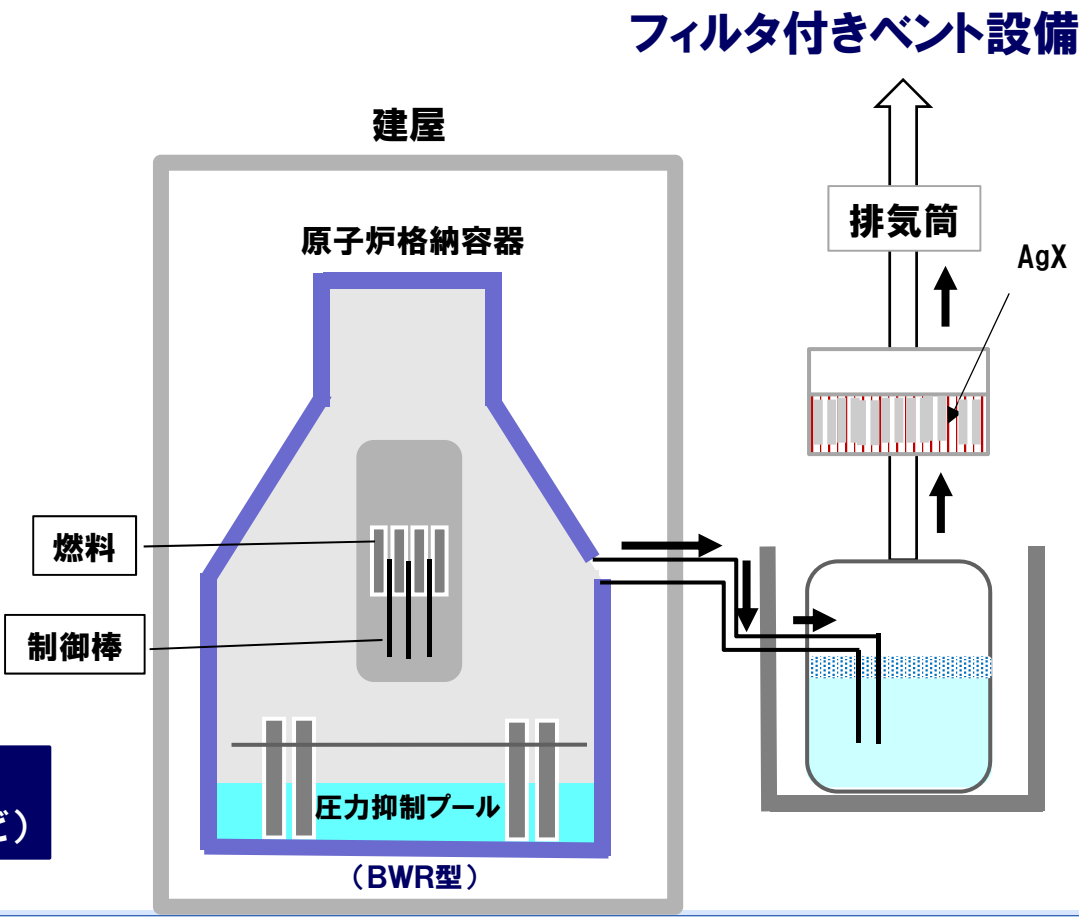
実用発電用原子炉及び核燃料施設等に係る  
新規制基準 (平成24年6月に法改正)

意図的な航空機衝突への対応	新設	テロ対策(シビアアクシデント対策)
放射性物質の拡散抑制対策		
格納容器破損防止対策	新設	
炉心損防止策		
内部溢水に対する考慮(新設)		
自然現象に対する考慮 (火山・竜巻・森林火災を新設)	強化又は新設	
火災に対する考慮		
電源の信頼性		
その他の設備の性能	強化	
耐震・耐津波性能		

**格納容器の閉込め機能  
(BWRのフィルタベントなど)**

## 「AgX」<sup>®</sup> 使用例

ベント設備(格納容器圧力逃がし装置)のフィルタに吸着剤として組み込まれる。



## 本資料に関する注意事項

- 本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

—IRに関する問い合わせ窓口—  
ラサ工業株式会社 経理部  
03-3278-3892